

第41号 発行：平成30年7月

松浦武四郎記念館友の会

会員数：187名(平成30年6月末現在)

(家族会員=17名、個人会員=170名)

発行責任者：飯田 秀

松浦武四郎記念館友の会



友の会だより

友の会事務局：松阪市小野江町383

松浦武四郎記念館内

「友の会」のHPは、松阪市の中にあります。

<http://www.city.matsusaka.mie.jp/site/takesiro/tomonokai.html>

## 武四郎さんとの出会い

会員 柴田 実



私が松阪市に住み始めたのは昭和57年で、58年後半から国道23号を通り津市の勤務先に向かう毎日になり、平成16年程より朝の通勤時には、北海道名づけ親『松浦武四郎記念館』の案内看板を目にする様になりましたので、記念館の存在は認識しましたが、立寄る意識は湧いてきませんでした。

そして、定年を迎えたある日の事、会社の先輩より『松浦武四郎記念館友の会』と言う組織があるので、入らないか?と誘いの言葉を頂きました。

会社の先輩であり逆らう事もできず、武四郎と言う人物について何も知らない中「分かりました」と返事をしてしまいました。以来、月一開催の武四郎講座を時には出席し、各講師様の研究発表を通し、武四郎の凄さを少しずつ理解できる様になりました。更に、生家にも関心があり「松浦武四郎誕生地保存会」にも参加しています。

講座を通じて強く感じたことを下記に述べます。 今後とも宜しくお願いします。

### 武四郎の凄さ：

少なくとも松阪市民には、『北海道の名づけ親・武四郎』の認識は広まっている様に感じますが、適切な理解とは言えないと考えます。より適切な理解は『名づけ役を頂ける人物』にあるのではないだろうか。

次に、名づけ親以上に大事な事は、皆様方ご存知の様に『幕府方が、アイヌ民族を迫害している事実を、江戸幕府に訴え続けた』行動力にあるのではないだろうか。

もう一つは、幅広い人脈を有効に活用し、骨董品に代表される多彩な収集家でもあるが、単なる収集だけに留まらず、後世の人々に語り継ぐ状態を残してる事ではないだろうか。

### 武四郎に何を学ぶのか：

私達が武四郎の功績を正しく理解する事だけでは、武四郎の採点は45点と想像します。武四郎の考え方とその行動から学び取った事柄を活かし、社会を良くする実践活動を行う事で、やっと及第点を頂けるのではないだろうか、その行動は、社会への影響度を気にする事無く、夫々の人がやり遂げるところに意識を持つ事が重要な様に考えます。

残り少ない今後ですが、自分のやれる事により意識を置き、行動したいものと考えます。

友の会が発足して丸10年経ち、これを記念して、今号から会員の方による「巻頭言」を掲載することにしました。

友の会入会のきっかけ、思い出、今後の期待、活動したいことなど何でも構いません。多くの方の投稿をお待ちしています。



みんな、  
応援してね!

武四郎のドラマ化決定!!

NHK 札幌放送局制作で来春放映

題名：「永遠のニシパ」(仮)

主演：松本潤 ヒロイン：深田恭子

## 友の会の定期総会が開催されました！！

平成 30 年 5 月 13 日(日)松浦武四郎記念館会議室において、松浦武四郎記念館友の会の定期総会が会員 48 名出席のもと開催されました。

飯田会長の挨拶の後、来賓として竹上松阪市長、石川三雲地域振興局長から、今年は、武四郎生誕 200 年、北海道命名 150 年の大きな節目で、多くの事業が計画されており友の会に期待していると述べられました。

引き続き、柴田会員(写真は巻頭言)が議長に選ばれ、議事次第に基づき進行され、平成 29 年度活動報告を、会計報告、監査報告がなされ、平成 30 年度事業計画と予算計画について説明があり、いずれも承認されました。



来賓の石川局長

## 大杉谷の武四郎看板除幕式参加報告

平成 30 年 4 月 10 日に大杉谷に完成した武四郎が大杉谷を訪れたことを記載した看板が完成し除幕式が行われ、大台町長はじめ、三重県、松阪市、近隣の関係の方々に参加し、盛大に催されました。

参加された河村さんに感想文をいただきました。

### 松浦武四郎生誕 200 年記念事業： 会員 河村千鶴子

#### ～武四郎の足跡を訪ね大杉谷へバスツアー～

平成 30 年 4 月 10 日(火)に、大杉谷へ建立された武四郎看板除幕式及び武四郎の足跡を訪ねるバスツアーに友の会会員など 30 名が参加しました。

除幕式は飯田会長の総合司会で厳かに始まり、最初に村田穂代表の武四郎に関する思いを熱く語られた挨拶に参加された皆様は熱心に聞き入っておられました。その後、武四郎翁が明治 19 年に訪れた大杉神社参拝後、「祈りの道公園」では、大杉谷の写真パネルを見ながら、自然の素晴らしさと村田代表からの武四郎さんが、大杉谷に対する想いに触れながら昼食をいただきました。

休憩した後は、第三発電所付近までバスで移動した後は「奥定宮跡」の案内説明を聞かせて貰ってから、バスに乗り込み地元ガイドの翼さんにバスの中で分かりやすく案内をされ、ダム湖に沈んだ「中定宮」についてもバスの中から、当時在った場所の案内をして頂き、最終バスを降りた場所では武四郎さんが泊まったと云われる浅井家が在った場所の案内がありました。最後に武四郎看板の前で集合写真を撮ったあと、帰路に着きました。

武四郎さんの足跡を訪ねることが出来、立派な看板を拝見し楽しいバスツアーであったことに感謝しております。



完成した看板(左下は村田区長)



友の会の参加者集合写真(2 列目の向かって右端が河村さん)

## 松阪偉人顕彰団体協議会総会の報告

平成 30 年 4 月 21 日(土)午後松阪市産業振興センター2 階研修室において、平成 30 年度定期総会が約 50 名出席のもと開催されました。

総会では、高島会長、来賓として竹上松阪市長の挨拶の後、各団体の代表が団体の紹介をされました。



記念講演の中野館長

石川典子さん(松阪商人を語る会)が司会進行をつとめられ、平成 29 年度事業報告・決算報告、平成 30 年度事業計画・予算計画について説明があり、全て承認されました。

また、総会後には記念講演として松浦武四郎記念館の中野館長のお話がありました。丁度武四郎生誕 200 年を迎え、テレビ、新聞等でもたびたび取り上げられており、参加者にとっても大変興味深く熱心に聞いて頂けました。



挨拶する高島会長

## 原田二郎89 回忌法要に役員が参列！！

今年も 5 月 5 日に原田家の菩提寺である松阪市新町の樹敬寺(浄土宗)で厳かに営まれ、約 50 名、友の会からは役員 3 名が参列しました。

※5 月 5 日は原田二郎の命日にあたり、毎年同日に法要が行われています。



参列された方々

## 誕生地保存会関係の報告

生家の修復が終わり、武四郎まつりがおこなわれた今年 2 月 25 日から一般公開されるようになりました。保存会としては開館時の受け付け、定期的な室内の清掃、庭の整備等を担当することになりました。興味のある方は記念館又は飯田会長にお尋ねください。

6 月 17 日には「がいなもん武四郎」の単行本が発刊されたのを記念し、竹上真人松阪市長も来られ、作家の河治和香さんのサイン会が行われました。併せて、「駒形どぜう」の六代目によるそば打ち実演が行われ、来場者約 160 名に出来たての蕎麦を振る舞われました。

また、当日は小野江コミュニティのサークル「武四郎花菖蒲の会」が鉢植えを展示して、正に花を添えました。  
※「がいなもん武四郎」は小学館から発行されている月間文芸誌「きらら」に昨年 4 月から今年 3 月迄掲載され、今回単行本として発刊されました。

※「駒形どぜう」は享和元年(1801)創業のどじょう鍋専門のお店で、東京浅草近くの駒形橋の近くに本店があります。

どじょう屋さんが、お蕎麦？・・・6 代目現社長が趣味で行っておられるとのこと！！

河治和香は駒形どぜうをテーマとした単行本を出版した縁で実現したとのことです。

※「がいなもん」とは、伊勢地方の方言で意味は凄い！他の地方では強い、乱暴等の意味もある。



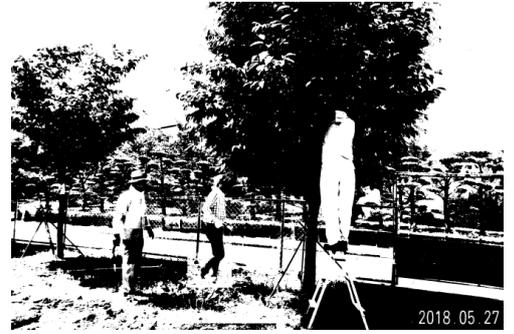
挨拶される河治和香さん

後方は武四郎花菖蒲の会の展示

## エノヤマザクラ育成・管理について

平成 20 年から 10 本を 3 年間北海道新聞社から贈られ、植樹場所の選定・育成をしてきましたが、近年は良く育ち、今年は 12 本全てに花が付き、枝も良く茂ってきました。

枝が密になると風通しが悪くなると、樹木医に教わったために、5 月に友の会役員 5 名で枝を剪定しました。一説によると「桜切るバカ、梅切らぬバカ!!」という言葉がありますが、状況によっては切った方が良い場合があるとのこと。



枝選定の様子

## オペレッタ「武四郎ものがたり」鑑賞報告

6 月 24 日(日)嬉野ふるさと会館大ホールに於いて松浦武四郎生誕 200 年記念事業として、主催嬉野コールジョイ、共催コール美音、ハーモニーゆうきが Summer Concert 2018 を開催し、来場者約 500 名が歌、劇を楽しみました。

第 1 部は合唱、第 2 部は創作オペレッタ「松浦武四郎ものがたり」で、途中、竹上市長も駆けつけ「生誕 200 年記念事業の一環で、この様な劇が計画され会場が満員になる盛況で、しかも他に 2 ヶ所でも人権等の催しが開催されていることは大変喜ばしいことだ。」と挨拶されました。

劇は武四郎が蝦夷地調査を決心する場面、アイヌが窮状を訴えて武四郎が記録に留めることを約束する場面、アイヌも和人も仲良く過ごそうと言う場面など、観客に訴える内容でした。



アイヌの長老に武四郎と出会った場面

## 【記念館よいのお知らせ】

- ☆生誕 200 年記念講座のご案内 ※下記は予定ですので、変更になる場合があります  
第 6 回 8 月 12 日(日)10:00～ テーマ：武四郎が生きた時代 講師：山本命主任学芸員  
第 7 回 9 月 9 日(日)10:00～ 河治和香氏(歴史小説作家)と村川透氏(映画監督)のお話会  
※会場は、松浦武四郎誕生地(予定)

10 月 14 日(日)は、武四郎フォーラムの為お休みします。

- ☆10 月 13 日(土)武四郎フォーラム 13:00 会場 14:00 開会 入場無料  
会場：クラギ文化ホール 内容：高橋源一郎さんによるトークセッション

### ☆展示のご案内

- ◆描かれたアイヌ民族 ～ 8 月 26 日(日)まで  
江戸時代のアイヌ民族の姿を描いた絵を紹介します。
- ◆武四郎の古銭収集 8 月 28 日(火) ～ 11 月 4 日(日)まで  
武四郎の実家に残されていた武四郎に関する資料を初公開します。
- ◆錦絵の世界 11 月 6 日(火) ～ 1 月 14 日(日)まで

## 【友の会よいのお知らせ】

- ☆友の会活動展示及び大杉谷への武四郎看板除幕式の写真展  
展示期間：8 月 1 日(水)10:00～ 31 日(金)15:00 迄  
展示場所：松阪市市民活動センター

- ☆松浦武四郎生誕 200 年記念事業として「大台ヶ原バスハイク」・・・10 月 29 日(月)の予定